

乾式技術に関する最近の国外の動き

米国

- GENERATION-IV (特に炉開発に横断的に必要な燃料サイクルのCross Cut Group)
我が国を含めて8カ国による新型炉(サイクルも含む)開発のためのフェージビリティ(最終的に6原子炉システムが選定される予定)
- AFCI(Advanced Fuel Cycle Initiative)
第一期の目標：ユッカマウンテン処分場の効率的利用
(技術確立が出来ている湿式でウランを分離(乾式技術開発の進展も見守る))
第二期の目標：超ウラン元素のサイクルによる利用と環境負荷の低減、有効資源)
- NERI (Nuclear Energy Research Initiative)
革新的な原子力システム、技術の芽を生み出す
- FCF (Fuel Conditioning Facility)での使用済み燃料処理実証
乾式法を用いたEBR-2使用済み燃料の集合体単位での処理試験

欧州

- BNFL：高濃縮度ウラン酸化物、高濃度Pu燃料廃棄物(使用済み燃料含む)の処理
(中間貯蔵前に処理を目的)
- CEA：TRUの核変換燃料の処理(2006年に1991年に制定した法律への回答)

韓国

- 燃料処理の名目で 一直線に：一部についてはKg規模(ほぼ実用規模)の試験を実施